※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	ワークプリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・視て感じる、感じて創ることを基本に踏まえるべき手段を経て徐々に個のものとなっていく過程を実感します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩・構成などについて着目して、感じ方や見方、表現を深めていきましょう。様々な表現や感じたことを共有すると、更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
（２）造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術やデザインにおいての造形の要素の働きを理解すし、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 表現方法を創意工夫し、主題を追及して創造的に表している。	テーマや課題物について、イメージや考えを膨らませ、表現できる。感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練り、自己の価値観を高めて美術作品などの表現の工夫や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	大作の制作　展覧会への出品	・展覧会の過去の受賞作品や教科書の作品を鑑賞する。 ・今までの自分の制作活動を振り返る。 ・自分の求める表現方法や主題を生成し、アイディアを練る。 ・　出品する部門を決定し、制作する。 ・完成作品を並べ、合評会を行う。	a:　造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基にイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b:技法・色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 絵具や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 c:主体的に表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	・アイデアスケッチ ・作品	・作品レポート ・ワークシート
	ポートフォリオ作成	・優れたポートフォリオを鑑賞し、デザインの効果を振り返り、自分のアピールできるところなどの見せ方について考える。 ・自分の過去の作品を整理し、ポートフォリオを作成する。	a:　造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基にイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b:配置や色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:主体的に表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	ポートフォリオ	アイデアスケッチ ポートフォリオ	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度